

◆ 住まいを考えたときのチョット情報 ◆

こだわりの住まいを建てたいなら・・・

設計士に納得いくまで、しっかりと伝えちゃおう。・・・の巻

楽しく・居る・空間
あなたの空間づくりをお手伝いします

楽居空

ここまで、「こだわりイメージ」「譲れないポイント」についてお話ししました。徐々に、設計士から要望にそった住まいのプランが提案されます。

お客様が「こうしかならない。」「これぐらいしかならない。」と思うと、設計士にこだわりイメージを伝わらないままプランが進んでしまいます。また、敷地など様々な諸条件にあやつられ過ぎると、かえって「こだわりイメージ」を見失って迷子になってしまいます。

ここで、住まいのプランを見ながら、自分の求めていた「こだわりイメージ」「譲れないポイント」の確認をしましょう。

設計士に納得いくまで、しっかりと伝えること・・・あきらめず！根気よく！
これこそが、「こだわりの住まい」を建てるための基本です。

こだわりイメージの達成感が、お客様と設計士の思いがずいぶん違いますね。なぜでしょう？

<理由1> **「こだわりイメージ」について、実は「モノのこだわり」ではなく、「空間のこだわり」であることに気が付かない場合があります。**

例えば、吹抜けやらせん階段などをモノとして置いていただけではイメージどおりにならないのです。楽しさや開放感、和風や南仏風といったその空間イメージはお客様の心の記憶なのです。

<理由2> **設計士は、ご要望事項に近いプラン提案をしているはずなのですが、お客様の本当のこだわりがまだつかめてない。**

設計士が導き出したイメージが「こだわりイメージ」と合致しているとは限りません。こだわりのツボを伝えましょう。

「こだわりイメージ」が迷子になっていませんか？

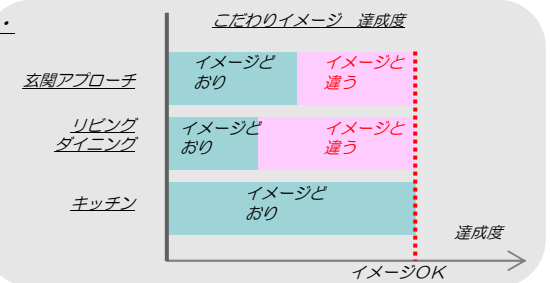
「プランを変更してもらったけど、何かが違う気がするなあ？」

「こだわりイメージにそった要望どおりになってはいるのになあ？」

「でも、こだわりイメージと違うんだよなあ？」

**こんな事になっていませんか？
その原因はここではありませんか？**

● 家族（お客様）の心中は・・・



こだわりイメージが迷子になった結果、気持ちのギャップが起きてしまいました。

● 設計士の心中は・・・

